

1. 日時 2026 年 7 月 2 日 (木) 10:30-12:00 ハイブリッド開催

2. 出席者 (敬称略・順不同)

[現地]宮沢善夫、柴田理美、谷優佑、坂本直也、市原真、市川一仁、根本哲生、藤島史喜、新井富生、津山翔、藤原美奈子、小嶋基寛、岸本光夫、大石琢磨、塩見達志、斎藤彰一、九嶋亮治、赤羽慎太郎、渡辺健太、岡田一秀、棚橋明央、石田和之、佐藤直実、羽賀敏博、広池哲平、川内隆幸、八尾隆史、下田将之、杉本亮、表梨華、田原健太郎、橋本大輝、二村聡、森永友紀子、大植雅之、門松雄一朗、新實優卓、加藤健、石川洸、富田尚裕、菊家健太、佐々木邦明、塩田哲也、村上圭吾、中野薫、高松学、大友駆、竹村しづき、近藤賢史、佐村博範、○
○修大 (読み取れず)

[オンライン]久田かほり、笹原有紀子、山本くらら、高村佳緒里、岩谷舞、牛久哲男、向所賢一、山本周、落合淳志、村田幸平、大倉康男、秋元直彦、田村一洋、中山敦仁、関根茂樹、加藤祐己、立石陽子

3. 議事

(1) 新たな病理委員会体制は以下。各委員から挨拶があった。

委員長 : 河内洋

副委員長: 小嶋基寛

委員	:	市原 真	岩谷 舞	牛久哲男	岸本光夫	九嶋亮治	坂本直也
		下田将之	菅井 有	関根茂樹	高松 学	橋本大輝	八尾隆史

(2) テーマごとにワーキンググループ (WG) を設ける。

- ・各 WG には、病理委員会委員のほか、協力者を募ってメンバーを構成する。

- ・WG 一覧:

炎症性腸疾患関連腫瘍、遺伝性腫瘍・若年性大腸癌、虫垂腫瘍、小腸腫瘍、規約英文化・国際共同活動、教育・広報、バイオマーカー・がんゲノム、デジタル病理・AI、腺腫、鋸歯状病変、pT3/pT4 鑑別、組織学的治療効果判定、神経内分泌新生物、肛門管腫瘍、T1 癌、癌免疫関係、組織型・組織学的リスク因子、マクロ・切り出し手順、3D 病理 (組織透明化)

- ・次回の委員会で、各 WG から、「Fact, Issue, Solution」のプレゼンテーションを行っていただく

- ・協力者は広く呼びかけ、希望者に参加いただく

(3) 以下の次版取扱い規約・改定箇所について、確認・議論された

1. 「腹膜播種」における細胞診の注記
2. Superficially serrated adenoma (SuSA) と Traditional serrated adenoma (TSA)
3. T1 癌の粘膜下層浸潤度測定方法
4. Sessile serrated lesion (SSL) と SSL with dysplasia (SSLD) → 腺腫相当・腺癌相当
5. カルチノイド腫瘍／神経内分泌腫瘍、内分泌細胞癌／神経内分泌癌
6. 虫垂腫瘍の病理分類
7. INF 廃止

以上
(文責 河内洋)